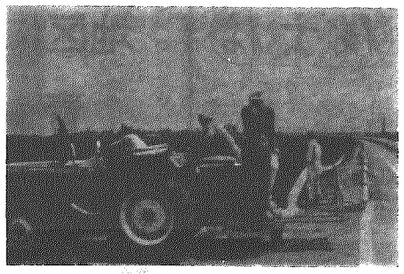
全村の防除体制を確立

小杉地区今年から共同に

村では、農業共済事業の一環として昭和四十九年から水稲の共同防除を実施し、病虫害発生防止と経費の節減に大きな効果を挙げてきましたが今年から小杉地区も共同防除に加わることとなりました。

従って文字どおり全村一斉の共同防除体制が確立されたもので、一段と防除効果が期待されます。

防除は年四回行うもので今年は、晴天が続き病害虫発生が例年より早まる予想から、六月十五日の病害虫防除班長会議、次ぐ十六日は、防除員研修会を開き、十七日から二十日まで第一回の二化メイ虫共同防除が実施されました。



今年から全村に実施された共同防除

村民プール一般開放

7月13日から

村民プール運営委員会が6月18日開かれ、一般開放などの日程を決めました。

それによると、村民プール一般開放は7月13日から8月31日まで予定され次の時間で開放されます。

プール解放（7/13～8/31）

曜日	時間
平日（月～金）	午後4時30分～6時30分
土曜	午後1時～5時
日曜	午前10時～午後5時

中学校では7月1日から9月の第1週まで授業の中でプールを使用します。

深刻な高齢化社会

シリーズ No. 2

待たれる新しい雇用の創出

「働けるうちは働く、これが一番の幸せです。」と答えるお年寄りが多くいます。

ところが産業界では、コンピューターやロボットを導入して減量経営や労働力の質的転換が図られ中高年齢者や女性の労働条件は、厳しさを増しているのが実情です。

また、定年制については大半がまだ五十五歳で、六十歳定年延長には、時間がかかりそうです。

こうしたことを考えると、高齢者の雇用問題は深刻な課題です。

〝最大の福祉は働く場があること〟

五十五歳といえば、子どもが大学を卒業して、就職や結婚で親離れをする時期、これから本当に自分たちの老後の生活設計を考えていこうとしている時期でもあります。これが定年退職によって経済基盤が崩れることは、高齢者にとって大打撃です。

しかも、退職後の余暇生活は、平均寿命が伸びて十八年から二十四年もの長い期間あります。その間の経済基盤は年金にたよるところが大きいのですが、年金支給まで五年、（臨調では、六十五歳まで延長の構え。このとおり実施されると十年）の経済的空白期間が生じてくることになります。

そのうえ、核家族の進行、子どもの扶養意識の低下、高齢者につきものの病気などを考えると経済的不安は高まるばかりです。

このようなことから定年制の延長と高齢者の雇用促進は重要です。

日本では、「年寄りは早く楽隠居した方がよい」と歳をとると職業能力が低下するという考え方が社会通念として定着し、暦年年齢の雇用となっていますが、アメリカでは一九七九年から七十歳定年制を実施しています。

これは、機能年齢を重視した考え方が広く社会に浸透しているからで、仕事をする能力は年齢だけで評価されるものでなく、労働者の身体的機能や社会的機能を総合的に評価し、人間尊重という視点が配慮されているといわれています。

「孫におもちゃでも買ってやりたい」「仲間と湯治にいってみたい」とささやかな高齢者の願いの底には最大の幸せ、最大の福祉は「仕事（職業）をもつこと」ではないでしょうか。

高齢化に対する各種制度の見直しや整備は、国家的課題であり、産業界も中高齢者に対する雇用の創出が望まれます。また、高齢者のもつ経験、技術、能力、知識が自治体や地域、家庭に生かされる「仕事の場」を考えていく必要もあります。

元気で家内作業の和だる作りを続ける
原田ヨシさん（81才）（二本木）

横越村高齢者の労働力の実態

（S55年国調）

	労働力人口	15歳以上の就業者数	うち60歳以上の労働力 就業者数	比率
	人	人	人	%
昭和40年	6,003	4,245	328	7.7
45	6,243	4,582	418	9.1
50	6,379	4,333	357	8.2
55	6,660	4,633	399	8.6

60歳以上の業種別就業（S55年国調）

	農業	建設業	製造業	卸売小売業	金融保険	不動産業	運輸通信	サービス業	公務
	人	人	人	人	人	人	人	人	人
昭和40年	256	12	6	23	1		3	22	5
45	321	16	17	24	1		2	34	3
50	250	19	16	29	2	2	3	33	4
55	265	23	22	45	2		2	37	3

互いに支え合って母子の福祉向上を

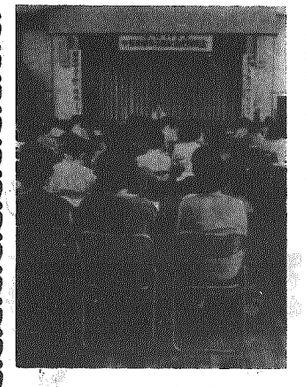
中蒲母子福祉会総会

中蒲母子福祉会（会長滝沢静会員四五二名）総会が六月二十日横越村公民館で、郡内から八十余名（うち本村から三十名が）出席して開かれました。

総会には、来賓に渋谷村長浅見議会議長、佐久間連婦会長らが出席。あいさつに立った渋谷村長は、「厳しい世の中、夫をなくしながら精一杯生きる努力に心から敬服。これからも頑張って」と励ましました。

総会の議事に先だって記念講演があり、講師の高橋ハナ先生（元木津小校長）からは「老人の多い社会の中の生き方」と題し、「日本婦人は世界に目を向け、社会に貢献し男性に負けない教養を積み婦人の地位向上に励みこれからの高齢化社会に対応してほしい」と話されていました。

この後、昭和五十七年度事業計画「生活物資あっせん・母子・父子交通遺児慰問、老人ホーム見学事業など）及び予算などを原案どおり決め、「生きぬく白百合」の歌を合唱して散会しました。



郡内から集った会員

〝食中毒〟夏場に多発

とにかく手洗いが第一

暑い夏は、食中毒がいちばん発生しやすい季節です

昔から「食品衛生は、手洗いに始まり手洗いに終わる」とよくいわれますが、手洗いこそ食品衛生の基本です。恐ろしい食中毒の防止は、まず完全な手洗いの実行からです。

食中毒には三種類

8～9割が細菌性中毒

食中毒は、大きく次の三つに分けられます。

細菌性中毒と化学性食中毒（農薬など）、それに自然毒（ふぐやキノコなどによるもの）です。このうち、細菌による食中毒が最も多く、全体の八割から九割を占めています。

細菌性食中毒のうち、主にブドウ球菌と大腸菌による食中毒が、ふだんの手洗いと深いつながりを持っています。

まずブドウ球菌ですが、これは人や動物の皮膚、鼻、のど、頭髪、つめの中などにいます。

この状態では害になりませんが、いったん人の手を経て食べ物などに付着して増殖を始めると、食中毒の原因になります。

また、大腸菌はふん便の中にだけいて、しかも口以外のところからは人体に侵入することはありません。

つまり、食中毒などの予防には「清潔（調理器具など）」「じん速（早く調理し、早く食べる）」「温度管理（冷却と加熱）」の三原則を守って食品を扱うことが大切ですが、さらに忘れてはならないのが〝完全な手洗い〟です。

役立っている「お知らせ」

もっとページングの活用を

―有放モニターアンケート結果―

有線放送協会は、五月に有線放送モニター（四〇人）か回二ら目のアンケート調査を行ない、このほどその結果がまとめられました。

今回の調査内容は、モニターが関心をもっている自主番組、生活に役立っている放送内容、一年間の放送実績の感想など七項目についてアンケートしたもので、それによると、自主番組で特に関心をもって聴いているのは、「行政ガイド」、役立っている放送は「役場からのお知らせ」という結果がでました。

また、一年間の放送実績の感想として〝各分野にわたりためになる良い放送ばかりで今後も一層よい番組を望む〟という意見があった反面〝ページングの利用が少い、放送のしかた、活用を周知する必要がある〟という意見が出されています。

おもな調査結果を紹介しますと。

問　自主番組で特に関心をもって聴いているのはどれですか。

――「行政ガイド」二六・一%「農事通信」二三・九%「農協アワー」一〇・九%の順になっています。

階層別では、農業者はやはり、「農事通信」に圧倒的に関心をもち、サラリーマンは「行政ガイド」と「学校だより」。商工業者、老人、学識経験者は、回答者が少なく結論を出すには困難です。

これらのことから村や農協学校、そして農業関係の放送に関心をもっていることがわかります。

問　どんな放送が役立っていますか。

――「役場からのお知らせ」一六・七%「農協からのお知らせ」一〇・八%「公民館からのお知らせ」「地域からのお知らせ」八・三%と続き直接聴取者の受益となるものや村、農協、地域の催物案内など、いわゆるお知らせが上位をしめています。

特に注目されるのは、「地域からのお知らせ」で放送利用は極めて少いところですが〝役立っている〟と答えています。

ページング放送は、地域の情報伝達の新しい広報手段です。各自治会や分館、地域の団体の活動の周知や連絡事項に積極的に活用されることが望まれています。

問　今後どんな内容の番組を望みますか。

――「道路交通情報」「天気予報」「有放投書コーナー」「天気予報」「生活番組」「農事番組」「音楽、歌のリクエスト」などが多く希望されています。

公共下水道工事契約

六月四日、七指名業者による公共下水道枝管渠布設工事（二件）の入札を行った結果、二工事何れも入札不調であったため最底入札者の見積りを徴し、次のとおり随意契約を締結しました。

工事名	公共下水道枝管渠布設一工事	公共下水道枝管渠布設七工事
場所	川根谷内（大曲下流）	川根谷内（日東団地内）
内容	枝管渠250㎜305m	枝管渠250㎜342m
工期	6月4日～10月1日	6月4日～10月1日
請負者	藤田建設㈱	伊藤組
請負額	2,350万円	2,510万円